

**平成28年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立表郷中学校長

平成28年4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学の2教科の実施となりました。

国語と数学の2教科については主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であるとともに、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	75.6%		○			
国語B	66.5%			○		
数学A	62.2%	○				
数学B	44.1%	○				

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	78.9%	○				
書くこと	73.7%					○
読むこと	78.6%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.9%	○				

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」では、相手の発言をどのように聞くかを選択する問題で落ち込みが見られます。相手の発言がどのような立場で話されているか、また、どのような考えを持っているかの聞き取りが難しいようです。相手の置かれた立場や考えを理解しながら話を聞くことに重点を置いていきます。
- 「書くこと」では、質問に対する答えを適切な言葉で書くことができています。授業の中で「根拠を明確にして自分の考えを書く」ということを繰り返し行っていることで定着が図られていると考えます。
- 「読むこと」では、登場人物の言動から内容を理解することができていますが、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができません。文章の展開の仕方に着目させ、内容理解に努めさせていきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、文章の中で語句の意味を理解することができていません。語彙を広げるために読書を多く行うと同時に授業でも国語辞典や漢和辞典を効果的に活用していきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
書くこと	58.3%		○			
読むこと	66.5%			○		

【考察】

- 文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを書くことが良くできています。国語Aと同様に根拠を明確にして書く力が身につけてきているためと考えます。今後も継続して指導にあたり、さらに書く力を高めていきます。
- 本や文章から必要な情報を読み取り、自分の考えを書くことができています。複数の資料から必要な情報を整理・分類させ、それらを結びつけながら根拠を明確にして自分の考えを書く授業を行ってきた成果だと思います。今後も計画的に資料活用の授業を行っていきます。
- 必要な情報の探し方についての知識が不足しています。学校図書館の活用を行い、必要な情報を手に入れる資料はどのようなものがあるか知識を増やしていきます。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	65.9%	○				
図形	67.1%	○				
関数	52.0%	○				
資料の活用	56.5%	○				

【考察】

- 「数と式」では、計算についての技能は高いですが、等式の変形や方程式の知識について落ち込みが見られます。学習内容のつながりを確認できる授業を行っていきます。
- 「図形」では、合同条件や平行線、角の性質が定着しておりません。図形の性質を理解させながら作図することで図形の知識を定着させていきます。
- 「関数」では、グラフや表を利用して自分の考え方をまとめる学習を継続してきました。その結果グラフの読み取りの力が向上してきました。
- 反比例や一次関数の知識について落ち込みが見られます。表と式、グラフの関連を確認しながら授業を展開していきます。
- 「資料の活用」では、資料中の情報を活用し、数学の用語や式、グラフや表を用いて説明する力が不足しています。資料の読み取りと自分の考えをまとめて説明する活動を取り入れて表現や説明する力を身に付けさせていきます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.5%	○				
図形	33.3%	○				
関数	41.4%	○				
資料の活用	39.3%			○		

【考察】

- 「数と式」では、与えられた情報を読み取る力が不足しております。説明文や表、グラフの活用の仕方を意図的に授業の中に取り入れていきます。
- 「関数」では、問題を解決するためにどのようなことが必要かをとらえることができいていません。問題解決の方法を考え、根拠を明らかにしながら、数学的に説明する活動を継続することで、必要な情報を適切に選択し判断する力を図っていきます。
- 「図形」では、平面図形の性質を使いながら筋道を立てて考える力が不足しています。図形の性質を確認し、それを用いて証明する学習を継続し、筋道を立てて考える力を育てていきます。
- 「資料の活用」では、資料の活用において、身近な生活場面を課題として取り入れたことで、より具体的に考察できる力が身につけてきました。

平成28年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立表郷中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思っております。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	表郷中	7.8	25.0	50.0	14.1	1.6	1.6
3	全 国	9.4	24.8	33.7	17.7	8.9	5.5

(単位 %)

【考 察】

- 毎日、全員の家庭学習の内容を点検し、欠かさず実施する指導をしています。また、教科ごとに授業の内容と関連づけた宿題を出すようにしています。
- 今回の結果をしっかりと受け止め、全くしない生徒0%、2時間以上50%を目標に家庭学習の充実を図っていきます。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
中	表郷中	23.4	35.9	39.1	1.6
3	全 国	16.0	32.4	36.7	14.8

(単位 %)

【考 察】

- 昨年度とほぼ同じ結果となっています。また、全国と比較しても良い結果でした。定期の教育相談だけでなく、定期テストや学力テストの返却時など、丁寧に学習ガイダンス等を行っている成果が表れてきたものと考えます。

- 学習時間の項目と同様、全くしていない生徒もいるので、個別的な指導を継続的に行っていきます。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中	表郷中	6. 3	9. 4	15. 6	21. 9	10. 9	35. 9
3	全 国	5. 5	8. 1	14. 6	21. 5	13. 1	37. 2

(単位 %)

【考 察】

- 昨年度の結果から大きな変化はありませんでした。全国よりは良い結果ではありますが、改善が必要な項目です。
- 普通教室近くの空き教室を利用して第2図書館を設けています。また、廊下に書棚を設置し生徒が興味を持ちそうな図書を配置しています。さらに、奨励図書や新刊図書の紹介なども積極的に行うなど読書環境の整備に努めています。朝の読書の充実なども進めています。

4 学校に行くのは楽しいと思いますか。

		そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
中	表郷中	53. 1	35. 9	9. 4	1. 6
3	全 国	48. 4	33. 0	12. 0	6. 6

(単位 %)

【考 察】

- 学級が「楽しい」と答えている生徒が多いです。1年生の頃から欠席者が非常に少なく、4月からの全員出席日数を更新中のクラスもあります。
- 授業では、5つの「授業の約束」を掲げて学習訓練をしっかりと行い、誰もが真剣に取り組める環境を作っています。また、QUテスト（学校生活・学級生活の満足度を調べる心理検査）の活用等を通して、全員が満足できるような学級経営に心がけています。
- 生徒会では「全員主役の生徒会」をスローガンに、一人ひとりが活躍できる生徒会活動を目指しています。さらに全校道徳と題していじめについて考える時間を設定するなど、全校でいじめ防止について取り組んでいます。
- 生活面の問題が生じた場合は、事実をしっかりと確認し、保護者との連絡を密にしてその日のうちに解決を目指しています。迅速な解決により、早く新たな気持ちで学校生活を送れるように努めています。

5 自分にはよいところがあると思いますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば当てはまる	どちらかといえ ば当てはまらない	当てはまらない
中	表郷中	20.3	57.8	15.6	6.3
3	全国	27.4	41.9	21.3	9.3

(単位 %)

【考 察】

- 「きちんと叱り、いっぱいほめる」という学校の方針を全教師で実践し、ほめる場を多くして自己肯定感を高めるよう配慮しています。
- ルールや約束を守る指導を徹底しています。一部の生徒だけの意見が尊重されることのない、秩序あるより良い集団づくりを心がけています。
- 部活動や生徒会活動に大変積極的で、陸上・駅伝・合唱などの特設部への参加者も多いです。多くの生徒が目標を持って学校生活を送っています。